

市議会

\ 伊勢崎のさがわかる /

いせさき

第5回
定例会

No.70

2019.1.1

伊勢崎市債権管理条例案など26議案を可決



- 2 定例会の概要
- 2 主な議案の概要
- 3 一般質問
- 10 常任委員会審査
- 10 特別委員会調査
- 11 議案等の議決結果
- 12 表彰・各種お知らせ

新年の御挨拶



議長 鈴木良尚

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から市議会に対して、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市の将来都市像である夢ふくらみ安心して暮らせる元気都市いせさきの実現を目指し、市議会といたしましても、市民の暮らしに配慮した魅力あるまちづくり推進のため、今後ともより一層の努力を重ねてまいります。

どうぞ本年も変わらぬ御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

境赤レンガ倉庫で開催の境にぎわい市

定例会の概要

第5回
11月30日～12月20日

市長から提出された議案 26件

- 条例関係 12件
- 補正予算 8件
- 人事案件 4件
- その他 2件

●11月30日 本会議

- ・会期決定(12月20日までの21日間)
- ・会議録署名議員の指名
- ・市長提出議案(伊勢崎市一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例案など3件)を可決
- ・市長提出議案の提案理由の説明(伊勢崎市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例案など19件)
- ・議案に対しての質疑
- ・所管の常任委員会に議案等の審査を付託

●12月4日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長)

●12月5日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長)

●12月7日 総務委員会

- ・議案の審査 5件
- ・請願の審査 2件
- ・所管事務調査

●12月10日 文教福祉委員会

- ・議案の審査 7件

●12月11日 経済市民委員会

- ・議案の審査 3件
- ・請願の審査 1件
- ・所管事務調査

●12月12日 建設水道委員会

- ・議案の審査 4件
- ・所管事務調査

●12月20日 本会議

- ・常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・市長提出議案の提案理由の説明(人権擁護委員候補者の推薦について4件)
- ・議案等の審議(結果は11ページに記載しています)

主な議案の概要

伊勢崎市債権管理条例案

市の債権の管理に関する事務の処理について必要な事項を定めることにより、市の債権を適正に管理することに伴い制定の必要を認めたものです。

定義規定は、既にそれぞれの条例に債権放棄の規定を定め運用している事業に関する債権を本条例における市の債権から除いた上で、法令等やその性質により債権を分類するものです。

その上で債権を適正に管理するため、台帳の整備、債務者に関する情報の利用、延滞金、滞納処分等及び強制執行等における調査について定めるものです。また、債務者に著しい生活困

窮その他の特別の事情があるときに、生活再建に関する相談に応じる規定を設けるものです。

これらの施策を講じた上で、所在不明や法人の破産などの理由により手を尽くしても回収の見込みがない非強制徴収債権については、限定的に放棄できる規定を設け、もって他の回収見込みのある債権に重点を置いて債権管理を進めようとするものです。非強制徴収債権を放棄したときは、決算認定における執行等に関する報告書に当該債権の件数、金額等を記載し、議会に報告するものです。

伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案

婚姻歴のないひとり親世帯の市町村民税の控除額の算定について、国の定めるみなし寡婦(夫)適用における算定方法に加え、調整控除を引き続き適用させることに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案

福祉医療制度における入院時食事療養標準負担額への助成の見直しに伴い、改正の必要を認めたもので、重度心身障害者、高齢重度障害者及び精神障害者である受給資格者の入院時食事療養標準負担額について、減額認定証を医療機関で提示した場合に限り助成を行うこととするともに、子供の資格に

問 重点事業は

答 大型事業を実施していきます

平成31年度予算編成について

健全な財政運営を図り、歳入の確保に努め、将来世代に負担を先送りすることがないよう財政規律を堅持しながら予算編成に取り組んでもらいたいと考えてるが、基本方針は。

群馬県金融経済概況において県内の景気は回復していると判断されているように、歳入では市税収入の増額を見込んでいます。一方、歳出では社会保障関係費が増加傾向にあることに加え、平成30年度から継続している大型事業の実施を見込んでいるとともに、平成31年10月には消費税率の引き上げが予定されています。このため、予算規模は平成30年度一般会計当初予算額745億円を上回る755億円前後になる見通しですが、予算編成に当たっては市民ニーズを的確に捉えるとともに、市税をはじめとする財源の捕捉及び限りある財源の効率的かつ効果的な配分に努め、持続可能で健全な財政運営を維持していきます。

重点事業は、文化会館整備事業、あずま支所改修事業、都市計画道路3・3・3号道路改良事業、あずま小学校校舎増築事業、伊勢崎駅周辺土地区画整理事業などの大型事業を実施していきます。



健全な財政運営を



伊勢崎クラブ 野田 文雄

会派から予算に対する要望事項を市長へ申し入れたが、予算への反映は、

各会派からいただいた御要望については、全ての部局長に通知し、組織的に共有を図っており、いずれの施策も市民福祉の向上及び市政発展に寄与するものとして、大変重要な御提言であると受け止めています。限られた財源の中ですが、各会派の御要望を念頭に置き、市民の視点に立った、市民の暮らし最優先の思いやり行政を基調とした予算を編成していきます。

その他の質問

- 人口減少による行政区の再編について
- コンビニエンスストアにおけるAED設置について
- ネーミングライツパートナー制度について

問 高齢者居場所づくり事業の今後の取り組みは

答 事業の立ち上げの支援や勉強会の開催です

高齢者居場所づくり事業について

本市では、地域と連携して高齢者に向けた事業を展開しているが現状は、

本市が委託して実施しているミニデイサービス事業は、平成30年10月末日現在、89力所です。また、住民主体による高齢者の居場所づくりも推進しており、伊勢崎市ふれあいの居場所づくり事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付している居場所は30力所で、居場所の立ち上げに関する相談件数は66件となっています。これらの事業は、生涯学習推進員やボランティア、民生委員等のほか地域住民の皆様との御協力を得て実施されています。

事業の効果は。

高齢となり地域から孤立しがちな方が、身近にある居場所に参加し、お互いに顔の見える関係を築くことにより、孤独への不安が解消されることが期待されます。また、居場所運営する担い手の皆様にとっても社会参加の場となり、介護予防の推進につながります。このような支え合い体制の構築により、地域力が強化され、安心して安全に暮らせる地域づくりが推進されるものと考えています。

先進地事例に対する考えは。

も該当している重度心身障害者について、引き続き入院時食事療養標準負担額の助成を受けるための規定の整備を図るものです。

平成30年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)

人事院勧告による改定等による人件費の調整、障害福祉サービス受給者の増加に伴う自立支援給付事業や障害児福祉事業の増額、生活保護受給者の増加に伴う生活保護費の増額、インフルエンザ等の予防接種者の増加に伴う感染症予防事業の増額が主なものです。

平成30年度 各会計補正予算

(単位:千円)

区分	補正前の額	補正額	計
一般会計(第2号)	75,129,198	1,433,258	76,562,456
特別会計等	国民健康保険(第1号)	288,256	19,870,779
	介護保険(第2号)	6,801	16,863,179
	下水道事業費(第2号)	17,000	3,567,639
	病院事業(第2号)	357,910	15,829,138

※病院事業の予算額は、支出予定額を掲載しています。

用語解説

請願

意見や要望を市政等に反映させるため、施策の実現を要望する制度です。市議会に対する請願は議員の紹介により提出され、常任委員会などの審査結果により、本会議で審議します。



ミニデイサービス事業

その他の質問

- 水道事業について
- 教育行政について

今後の取り組みは。

玉村町が平成28年度から実施している居場所づくりの交流会を参考に、平成30年10月に勉強会を開催しました。今後、居場所の代表者による情報交換会についても実施していきます。



伊勢崎クラブ 定方 英一

ミニデイサービス事業及びふれあいの居場所づくり事業について、立ち上げに関する支援や、安定した運営のための勉強会等の開催、市の広報紙による事業内容の周知などにより、高齢者の居場所が市内全域に広がり、高齢者が増え、高齢者の皆様が住みなれた地域で健やかに安心して生活を送れるよう取り組んでいきます。



問 今後の都市基盤づくりは

答 交通利便性を生かした土地利用を検討します



伊勢崎クラブ
吉 山 勇

幹線道路沿道の土地利用について

問 東毛広域幹線道路沿いに整備された伊勢崎宮郷工業団地の分譲状況と今後の見通しは。

答 伊勢崎宮郷工業団地分譲状況については、現在、分譲面積47ヘクタールのうち40・4ヘクタールが分譲済みとなっています。事業所数は12社、業種は食品のほか、衛生用品、自動車部品、航空機部品などの製造業で多種にわたっており、残る1区画についても分譲に向けた調整を進めています。

便性を生かした土地利用の検討を進めていきます。

スポーツ施設について

問 全てのスポーツ施設の利用予約について、システム化を図り、一元化して便利な方法へ改善する考えは。

答 各運動施設管理事務所では、毎月5日に翌月の利用予約を先着順に受け付けています。制限なく早くから並んでいたとさまざまな支障が生じることから、利用者の負担軽減及び利便性向上を図るため、一部抽選方式の導入など、現状の予約方法の見直しを検討していきます。また、他市において導入しているインターネット予約システム等についても調査研究し、地域の実情や利用の形態を考慮しながら、改善に努めていきます。



伊勢崎宮郷工業団地

問 自転車保険の加入状況は

答 11校が加入しています



伊勢崎クラブ
新 井 智

中学生の自転車通学について

問 自転車通学に至った経緯は。

答 部活動で下校時間が遅くなるため、防犯上短時間で帰宅できるよう、全生徒に自転車通学を認めています。

自転車通学の許可の基準は。

答 保護者の同意を得ること、通ルールの遵守、自転車点検による安全性の確認、ヘルメット着用の4点で、許可申請に対する許可率は100%です。

自転車通学時の事故件数と内容は。

答 過去3年の4月から10月末までの件数は、平成28年から42件、53件、25件で、本年は減少しており、交通安全指導の成果が表れていると考えています。けがの程度については、擦り傷や打撲等の軽症が24件、骨折が1件です。

安全対策の現状と保険加入状況は。

問 本年度はこれまでの取り組みに加え、生徒自らが考え交通事故をゼロにするための取り組みとして、校内放送やポスターによる啓発により、ヘルメットの着用や雨天時の雨がっぱの着用、一列走行の励行などを実践しています。自転車保険の加入状況は、11校が加入し、未加入校についても年度当初に任意の保険制度を学校から各家庭に紹介



自転車通学の安全対策を

問 重いランドセル解消の方針は

答 国が示す工夫例を参考に学校へ指導します



伊勢崎クラブ
宮 田 芳 典

小学生の重いランドセル解消に向けての取り組みについて

問 登下校時の荷物の重さで、腰痛や事故の危険性が指摘されており、対策を求める声があるが本市の現状は。

答 市内全ての小学校において、児童の発達段階、学校や家庭での学習の必要性、通学上の負担等を考慮して、学用品の重さや量が児童の負担にならないよう配慮しています。具体的には、持ち帰りを要しない物を一覧表に示したり、家庭学習で使用しないものは教室の机やロッカーに置いて帰ることを認めたりするなど、学校全体で対応しています。

今後の方針は。

問 これまでも各学校には、教科の学習に用いる問題集や資料集等の副教材を精選するよう指導してきました。今後、これまでの取り組みを継続していくとともに、国の示した児童・生徒の携行品に係る工夫例を参考にし、児童や保護者の声に耳を傾けながら児童の負担を軽減するよう、各学校に指導していきます。

問 公募設置管理制度(Park-PFI)について

県はにぎわい創出のため公募設置



児童の負担の軽減を

その他の質問

市営住宅について

管理制度を活用し、県立敷島公園に出店する飲食事業者を公募すると発表したが、この制度についての考えは。

答 公募設置管理制度は、平成29年6月に施行された都市公園法の一部改正により新たに設けられた制度で、飲食店、売店等の施設の設置と、当該施設から生じる収益を活用して、その周辺の園路や広場等の公園施設の整備、改修等を一体的に行う者を公募により選定し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、公園利用者の利便性の向上を図ることを目的とした制度です。制度が創設されて間もないことや、全国的にも導入事例が少ないこと等も踏まえて、本市では、現在のところ、公募設置管理制度を活用する考えはありません。

問 応急給水施設の貯水量は

答 全市民が約108日分使用できる水量です



伊勢崎クラブ
須 永 聡

災害時における飲料水の供給について

問 供給施設及び供給量は。

答 耐震性非常用貯水槽をいせさき市民のより公園と伊勢崎駅北口公園予定地内に設置しており、容量はそれぞれ100立米と40立米で、供給量は災害時に必要とされる1人1日3リットルで計算すると、それぞれ延べ約3万3300人分と約1万3300人分です。

また、耐震性非常用貯水槽以外の応急給水施設として、浄水場や水源池、配水場が貯水量6万6810立米、小・中学校の貯水槽が貯水量1279立米、合計6万8089立米で、1人1日3リットルで計算すると約2270万人分となり、全市民が約108日分使用できる水量です。

ラウンドアバウト(環状交差点)について

メリット及びデメリットの考えは。

問 メリットは、重大事故の減少や渋滞の緩和が期待され、災害時及び停電時にも交差点機能が維持できる効果が見込まれます。デメリットは、逆走及び無理な進入などの恐れや交差点を広く取る必要があるため、用地確保が困難なこと等の問題が挙げられます。

平成30年10月に伊勢崎警察署長が



安中市のラウンドアバウト

その他の質問

● 地方分権改革における提案募集方式について

● 農作物盗難対策について

● 中核市について



問 平成31年度の運動会の方針は

答 1学期または9月下旬開催を検討しています



伊勢崎クラブ 小暮笑鯉子

小学校教育について

問 平成31年度の運動会はどのような方針で行う予定か。

答 来年度の運動会の開催については、各学校が児童の健康面や安全面に十分配慮し、1学期または9月下旬の開催について検討を進めています。

内容については、児童が活躍する場や時間を確保しながら、開閉会式の短縮や競技中のスムーズな進行、種目の見直し等の検討を行っています

問 冷房にかかる電気料削減や余裕をもった運動会準備などのため、長期休業の期間を見直しする考えは。

答 最も暑い時期は年によって異なり、児童の健康面においてどのような時期が適切であるか、あらかじめ判断できないこと、また、児童の学力向上を図るために現状の授業日数を確保していく必要があることから、平成31年度は本年度同様の期間を予定しています。

問 夏休みの勉強塾とプールは、猛暑時の開催判断が各校で異なる状況だが、本事業を無くすことで、登下校時の熱中症によるリスクを無くすだけでなく、この期間を教師の休暇に充てることで、教師の働き方改革にもつながると考えるが、本事業を廃止する考えは。



熱中症対策が求められる運動会

問 これまでの成果と課題を踏まえ、児童の健康に十分配慮するとともに、各学校の実態に応じて、無理のない範囲で実施するよう指導していきます。

問 スクールカウンセラー及び教育支援員の増員の考えは。

答 スクールカウンセラーは、児童、保護者への対応や教師への助言を求めるニーズが高くなっているため、県に對して増員の要望を行っています。今後も、児童が抱える困り感をできるだけ早い段階で把握し、保護者の教育的ニーズや児童の特性に応じたきめ細かな支援が図られるよう、人数や配置について検討したいと思っています。

その他の質問

● 花のまち伊勢崎について

● 東地区の公共施設について

問 災害図上訓練DIGの今後の取り組みは

答 多くの行政区での実施を検討していきます



党市 明島 公島 良市

防災対策について

問 住民への災害情報の伝達手段は。

答 いせさき情報メール、緊急速報メール、市のホームページ、ツイッター、フェイスブック、防災行政無線、広報車及びアラートを用いたテレビ、ラジオ等から情報を発信しています。

問 防災ラジオの無償貸与の考えは。

答 各世帯に防災ラジオ等を含めた情報を伝達できるシステムの導入について、費用対効果及び情報を伝達する環境の変化などを踏まえて総合的な調査研究をさらに進めていきます。

問 災害図上訓練DIGへの参加人数及び課題、今後の取り組みは。

答 各行政区からの要望により開催しており、参加人数は、平成27年度からの3年間で12行政区363人です。

この訓練は、地域の地図を囲みながら災害に対しての危険箇所や課題、役立つ施設や人材等を地図に書き込むことで地域オリジナルの防災マップを作成できることから、非常に有効な訓練であると認識していますが、対応する職員の人数に制限がありますが、年間の実施回数が少ないという課題があります。

今後は、複数の行政区との合同開催や地元防災士の御協力をいただくな



災害図上訓練DIGの様子

ど開催方法を工夫し、より多くの行政区で実施することができるよう検討していきます。

問 総合防災マップの意義と活用について市民に広く知ってもらうため、方法を工夫して周知を図っていく必要があると考えるが、市長の見解は。

答 平成30年3月に全市に配布し、その後は、本市への転入者に、転入手続の際に配布をしています。

また、平時から災害に備える知識や理解を深めていただくため、災害図上訓練や出前講座等において、総合防災マップを活用し周知に努めているところです。

その他の質問

● 生活困窮者自立支援制度について

● 高齢者の健康対策について

問 乳幼児健康診査の会場統合の内容は

答 2カ所での実施に集約します



伊勢崎クラブ 栗原真耶

乳幼児健康診査について

問 健診会場統合の経緯と内容は。

答 本市では子育て世代に向けた支援体制のさらなる充実を図っていく方針で、乳幼児健康診査は来年度から健康管理センターと赤堀保健福祉センターの2カ所での実施に集約します。これにより、1回の健診に係るスタッフ数が増え、問診や相談が丁寧に行え、健診の質の向上と精度の向上につながることを考えています。東地区や境地区の保護者の皆様には、会場が遠くなるなど御迷惑をお掛けする面もありますが、ぜひ御理解をいただきたいと思います。

問 助成事業の周知方法は。

答 妊娠届出の際や乳幼児健康診査の際にチラシを配布するとともに、市の広報紙、ホームページ及びワクチン&子育てナビを通じても啓発を行っています。また、本事業に協力をいただいている医療機関に、ポスターの掲示とチラシの設置をお願いしています。

その他の質問

● 災害時の避難所について

問 風疹対策について

問 本市は、平成25年度から大人の風疹予防接種費用助成事業を実施しているが、助成内容及び拡充の考えは。

答 平成22年4月1日以前に生まれた



子育て支援体制のさらなる充実を

問 教職員の負担軽減の取り組みは

答 校務支援員を小・中学校12校に配置



日本共産党議員団 北島元雄

教職員の長時間労働の解消について

問 教職員の長時間労働が社会問題になっており、実態調査が必要と考えるが、労働時間の実態把握と健康管理の体制はどのように行われているのか。

答 1学期の休日を含めた教職員の時間外勤務は、月60時間以上の割合が、小学校で43・0％、中学校で69・8％、月80時間以上の割合が、小学校で16・9％、中学校で44・8％になっています。本年度より、出退勤管理ファイルを導入し、教職員の個人用パソコンにより勤務状況を把握しています。また、中学校における部活動や休日出勤した時間も加算し、集計しています。

集計結果は管理職が管理し、長時間労働の多い教職員の状況を把握し、必要に応じて管理職より指導及び助言をしています。

問 教職員の負担が増えており、人的支援や業務の見直し、学校システムの改善が必要と考えるが、教職員の負担軽減の取り組みと成果は。

答 取り組みについては、人的支援の視点から、印刷や書類作成などの支援に当たる市費による校務支援員を小・中学校12校に、本年度からは県費によるスクール・サポート・スタッフを小・中学校12校に配置しています。また、



人的支援や業務の見直しを

その他の質問

● 空き家対策について

● 小規模企業振興について



問 本市における障害者雇用の現状は

答 実人数で30人です

障害者雇用について

問 本市における障害者雇用の現状は。
答 平成30年6月1日現在の本市で雇用している障害者数は、実人数で30人となっています。なお、国から示されている算定方法においては、重度身体障害者1人を2人分として算定することとされており、国への報告では障害者数の合計を41人として報告しています。

障害区分別の人数については、実人数で身体障害者は28人、知的障害者は2人で、精神障害者はいません。

仕事内容については、障害の状態により職場環境を考慮しながら、事務職は一般事務に、技能労務職は環境整備に従事しています。

問 今後の方針は。

答 本市では、平成25年度から障害者枠を設けた採用計画を策定し、障害者の採用を定期的に行っています。

今後も、障害者の職業の安定に資するため、引き続き採用に取り組んでいきます。

高齢者の孤食について

問 食事を通じた触れ合いの場として、高齢者のための環境づくりの考えは。

答 本市では、高齢者の社会的孤立感



平成クラブ
森田 修

の解消を目的の一つとしてミニデイサービス事業を行政区に委託して実施しています。この事業は、高齢者の皆さんが栄養のある食事を地域の方と一緒に食べることで、身体のみならず精神的な安定を図ることを目指すものです。

昨年度は84力所で実施し、延べ1万9321人が利用しました。高齢者の食事を通じた触れ合いの場として、今後さらに事業を推進していきます。

問 学校給食と連携する考えは。

答 学校給食との連携については、調理及び配達の人員確保等の課題が想定されますので、今後調査研究していきます。

その他の質問

●福島病院移転後の跡地について

●農地の利用について



障害者の雇用を

問 レファレンスサービスの充実の考えは

答 より一層の充実に努めます

図書館政策について

問 基本的な図書館サービスの一つであるレファレンスサービスの充実の考えは。

答 レファレンスサービスとは、図書館利用者が学習や調査に必要な情報を得るための調査相談業務のことで、図書館資料やデータベース等による出典根拠のある情報を提供するものです。レファレンス業務の基準となっている事項は、群馬県立図書館の統計によると、調べ方の案内、資料の所蔵の有無、他の図書館の所蔵の照会、読書案内、読書相談等になります。平成29年度、本市全体の図書館で受け付けたレファレンス件数は、9326件でした。

閲覧や貸し出し等の資料提供サービスと並んで、知りたいことが分かるよう支援するレファレンスサービスを通して、より多くの皆様が、役に立つ図書館を実感していただけるように、より一層の充実に努めていきます。

問 図書館課と文化財保護課のイベント周知や資料に関する連携は。

答 平成28年度から本年度まで3回にわたり、古文書を読み解く古文書講座を連携して開設しました。図書館課と文化財保護課は、郷土資料の保存と地域の歴史を後世につなぐ役割を担う意



いせさき未来
馬庭 充裕

味において関連性があることから、文化財の魅力ある企画を図書館からも発信できるよう工夫していきます。

問 図書館政策の基本方針は。

答 第2次伊勢崎市総合計画や伊勢崎市教育振興基本計画等に基づきながら、本市の全図書館を大きな一つの図書館として捉え、各図書館のそれぞれの特色を生かしながら、家庭、地域、学校との連携を深め、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信拠点となることを基本方針とし、時代の要請を見きわめながら、各世代に役に立つ図書館として事業を展開していきます。

その他の質問

●債権管理について

●都市計画道路について



絵本作家の講演会

問 学校における歯科検診の意義は

答 健康状態の把握及び健康教育に役立っています

学校における歯科検診について

問 歯科検診の目的及び意義は。

答 学校保健安全法第13条の規定により、学校においては、毎学年、定期に児童・生徒の健康診断を行わなければならないこととされており、本市でも歯科検診を実施し、児童・生徒の健康状態の把握及び健康教育に役立っています。

問 歯科検診後、治療勧告を受けても虫歯治療を行っていない実態があるのか、本市の現状は。

答 平成30年の歯科検診後に、治療勧告した児童・生徒の割合は、小学校10・1％、中学校21・0％、四ツ葉学園中等教育学校前期課程18・1％でした。このうち、8月末の未治療児童・生徒は、小学校548人で46・6％、中学校700人で59・1％、四ツ葉学園中等教育学校前期課程36人で52・2％となっています。未治療の児童・生徒の保護者には、受診の必要性を説明し、再勧告書を配付しています。また、児童・生徒には、歯科医師及び歯科衛生士の協力のもと、学級担任や養護教諭による歯科保健指導を実施し、歯及び口の健康づくりの重要性を指導しながら、歯磨き習慣等望ましい生活習慣の形成が図れるよう指導しています。

在宅保育支援について

問 子育て支援策は、子育てと仕事の両立支援であり、保育園の拡充策がその中心をなしており、3歳未満児を自宅で育てる保護者に対する支援は整備されていないと考えるが、在宅保育世帯に対しても、経済的支援を行う考えは。

答 支援金の支給については、現在のところ考えていませんが、在宅保育をされている親子が利用可能な児童厚生施設や子育て支援施設等のサービスの充実を図るとともに、利用促進に向けた一層の周知に努めることで、御家族の負担の軽減を図っていきます。

その他の質問

●がん検診について

●外国人加入者の国民健康保険税の滞納について



歯及び口の健康づくりを

問 水道管老朽化に対する認識は

答 更新ペースを上げていきたいと考えています

水道事業について

問 平成30年9月定例会の決算特別委員会で、老朽化した水道管の全延長が269・6キロメートル、平成29年度の経年変化率が19・7％、管路更新率が0・62％との答弁があり、交換が追いついていない現状だが、対応状況は。

答 水道管については、総延長に対して法定耐用年数40年を経過した割合が増加しています。毎年水道管の更新を進めていますが、40年前の布設ペースに比べ、現在の更新ペースが遅れていることにより、経年化が進んでいる状況です。今後は、更新ペースを上げていきたいと考えています。

問 老朽化した水道管の交換が進まない理由が財源不足だとすれば、水の安定供給のため、水道料金の値上げも止むを得ないと考えるが、財源の検討は。

答 伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会による水道料金の改定率や時期の検討については、水道事業経営戦略案の策定を進める段階で計画案として協議されています。この経営戦略案については、パブリックコメント手続による御意見や今後の検討委員会での協議内容を踏まえ、本年度内に策定する予定です。また、経営戦略上の水道料金の改定率や時期については、投資・



水道管の更新工事

その他の質問

●公共施設について

問 水道を守っていくための心構えは。
答 水道は、ライフラインの基本中の基本です。1時間止まっても大変な状態になると認識しており、決して断水等が起こることがないよう、また、安全安心な上水を提供できるように努めていきたいと考えています。そのためには財源の工夫をした上で、最大限の努力をしていきたいと考えています。



こども未来
多田 稔

議案等の議決結果

市長提出議案

●…賛成全会一致 ○…賛成多数 ×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
124	伊勢崎市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例案	総務	12.20	●
125	伊勢崎市債権管理条例案	総務	12.20	●
126	伊勢崎市税外諸収入金の督促及び延滞金に関する条例を廃止する条例案	総務	12.20	●
127	伊勢崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.20	●
128	伊勢崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.20	●
129	伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.20	●
130	伊勢崎市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.20	○
131	伊勢崎市プリティータウンの丘磯沼荘条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.20	●
132	伊勢崎市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.20	●
133	平成30年度伊勢崎市一般会計補正予算（第2号）	総務	12.20	●
134	平成30年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	12.20	●
135	平成30年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	経済市民	12.20	●
136	平成30年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	12.20	●
137	平成30年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	建設水道	12.20	●
138	平成30年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第1号）	建設水道	12.20	●
139	平成30年度伊勢崎市水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道	12.20	●
140	平成30年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第2号）	文教福祉	12.20	●
141	町の区域の変更について	総務	12.20	●
142	損害賠償の額を定めることについて	文教福祉	12.20	●
143	伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.30	●
144	伊勢崎市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.30	○
145	伊勢崎市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.30	○
146	人権擁護委員候補者の推薦について 中島 薫（境下武士）	付託なし	12.20	●
147	人権擁護委員候補者の推薦について 細合 康夫（馬見塚町）	付託なし	12.20	●
148	人権擁護委員候補者の推薦について 齋藤 壽（境）	付託なし	12.20	●
149	人権擁護委員候補者の推薦について 佐藤 佳代子（境百々）	付託なし	12.20	●

請願

●…採択 ➡…継続審査 ×…不採択 —…審査未了

受理番号	件名	付託委員会	結果
2	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願	経済市民	×
4	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する請願	総務	➡
5	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	総務	×

I 陳情 I

- ・災害等緊急時に対応する危機管理体制の整備についての陳情（第1号 / 総務委員会・建設水道委員会へ送付）
- ・臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情（第2号 / 文教福祉委員会・経済市民委員会へ送付）
- ・商工会議所の機能を活用し、着実で円滑な「働き方改革」の実現についての陳情（第3号 / 文教福祉委員会・経済市民委員会へ送付）
- ・ヘルスケア産業の創出に向けた「地域包括ケアシステム」の構築についての陳情（第4号 / 文教福祉委員会・建設水道委員会へ送付）
- ・グローバル競争を踏まえた生産性向上への支援についての陳情（第5号 / 経済市民委員会へ送付）
- ・地元酒などによる乾杯の推進についての陳情（第6号 / 経済市民委員会へ送付）
- ・小口資金融資制度の改善についての陳情（第7号 / 経済市民委員会へ送付）
- ・地域交通（バス）の運営維持についての陳情（第8号 / 経済市民委員会へ送付）

I 市長からの報告 I

- 11月30日 和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について 4件（第34号～第37号）
陸上競技場管理棟改修工事請負変更契約締結の専決処分の報告について（第38号）
- 12月17日 裁判上の和解についての専決処分の報告について（第39号）
和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について（第40号）

用語解説

陳情 市政等に対する意見や要望を市議会に提出するものですが、請願と違い、議員の紹介を必要としません。提出された陳情書は常任委員会に送付されます。

常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案などについて慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市債権管理条例案

問 債権管理の一括窓口設置の考えについて

答 県内外の状況を考慮し、総合的に研究を続けていきます。

平成30年度伊勢崎市一般会計補正予算（第2号）

問 予防接種委託料の増額理由について

答 平成30年8月までの実績及び昨年度との比較により増額するもので、インフルエンザ約2700万円、日本脳炎1期・2期約2670万円、小児用肺炎球菌約1200万円の増が主なものです。

結果 付託された5議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市プリティータウンの丘磯沼荘条例の一部を改正する条例案

問 事業の一部を廃止する理由について

答 従来から当該施設における訪問サービスの利用が少ないことから、平成27年6月から同事業は休止状態となっており、今後実施する場合の人員基準及び利用状況を勘案した結果、実施は困難と判断したためです。

平成30年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算（第1号）

問 債務負担行為を設定する学校給食配送業務委託料における積算根拠について

答 新学校給食調理場の稼働及び第2学校給食調理場の配送区域の変更に伴うトラック8台分の購入費、並びに新学校給食調理場の配送トラック10台に助手を配置するための人件費を見積もったものです。

平成30年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）

問 地域密着型介護サービス給付費の増額理由について

答 地域密着型介護予防サービスにおける小規模多機能型居宅介護の利用者数が見込みを上回ったため、地域密着型介護予防サービス給付費を増額するもので、財源割合を同じくする地域密着型介護サービス給付費から予算を組み替えるものです。

結果 付託された7議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案

問 改正による負担増額約5100万円の内訳について

答 所得区分が一般所得で1食当たり460円負担の長期入院患者約60人分の負担額が2500万円、所得区分が一般所得で1食当たり260円負担の難病及び小児慢性特定疾病等による入院患者110人分の負担額が2600万円です。

結果 付託された3議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

建設水道委員会

平成30年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）

内訳について

答 公共下水道費については、茂呂第一土地区画整理事業地区内における汚水施設事業及び境中央排水区における汚水対策事業の設計委託料として550万円、茂呂町の南部系統及び連取町の西部第五系統の舗装復旧工事費として1000万円をそれぞれ増額し、汚水施設事業における物件移転補償費の確定に伴い減額する700万円を、浸水対策事業の物件移転補償費に充てるもので、公共下水道費、流域関連については、西久保町二丁目の赤堀第2分区の設計委託料として150万円増額

するものです。

問 補正予算での対応となった理由について

答 茂呂第一土地区画整理事業においては、公共下水道の整備を区画整理の進捗に合わせ、事業を見合わせていたが、地元からの要望により、平成31年度に直ちに工事を開始できるよう設計費用を補正するため、舗装復旧工事においては、来年度以降の開始を予定していたが、段差解消の要望に急遽対応するためです。

平成30年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第1号）

問 債務負担行為を設定する農業集落排水処理施設運転管理業務委託料における限度額の算出根拠について

答 平成30年度の限度額を基準とし、消費税増税分を見込んだものです。

結果 付託された4議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

特別委員会調査

12月17日に世界遺産活用調査特別委員会が開かれ、田島弥平旧宅についてと田島弥平旧宅案内所移転について調査を行いました。

12月20日に少子高齢化対策特別委員会が開かれ、伊勢崎市子ども・子育て支援事業計画について調査を行いました。



02 市議会はいつ開催されるの？

市議会は、定期的（3・6・9・12月の年4回）に開く**定例会**と、必要なときに開く**臨時会**があります。

定例会や臨時会では、市民の代表である議員全員が集まって「条例」や「税金の使い方」を決める**本会議**や、市の仕事の分野ごとに議員が分かれて市の仕事を専門的にチェックする**委員会**が行われます。



議会ってどんなところ？

シギカイの カイセツ

伊勢崎市議会のことについてわかりやすく解説します。

表彰受賞

11月30日、本会議開会冒頭の議場において、群馬県功労者表彰の報告を行いました。

群馬県功労者表彰

地方自治の振興に尽力し、県民生活の向上に寄与した功労により、群馬県



● 定方英一氏

功労者として群馬県知事から表彰されました。

次回定例会日程表（予定）

2月	19日 火	本会議
	22日 金	本会議
	25日 月	本会議（一般質問）
	26日 火	本会議（一般質問）
	28日 木	予算特別委員会
3月	4日 月	予算特別委員会
	6日 水	総務委員会
	7日 木	文教福祉委員会
	8日 金	経済市民委員会
	11日 月	建設水道委員会
	19日 火	本会議



寄附禁止のルールを守りましょう！



政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

● 次のようなものが禁止の対象です



落成式・開店祝の花輪



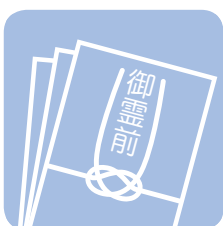
御歳暮・御年賀



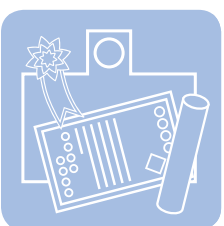
地域行事への寄附や差し入れ



葬式の花輪・供花



代理が出席する場合の葬式の香典



入学祝・卒業祝

議会を間近で見られます

議会の本会議や上記日程表の各委員会は、一般に公開しています。市政の方針や議員の活動をぜひ間近でご覧ください。

時間：午前10時開会

場所：伊勢崎市役所 議事堂

定員：本会議54席・各委員会10席

※日程、時間等は変更になることがあります。